

特別養護老人ホーム 皆生みどり苑

1 基本方針

- 個人の尊厳を尊重し、安心安全な生活が送れるよう支援する。
- 利用者一人ひとりの生活リズムに合わせた個別ケアを推進し、その人らしさを大切に
した生活を提供する。
- 施設機能を活用した地域貢献を行うとともに、積極的な情報公開により透明性を高
め、信頼される施設を目指す。
- 社会のニーズに応じ、高齢者・障がい者等が共に暮らす共生社会づくりに貢献する。

2 利用者の状況（令和8年3月31日現在）

（1）入退所の状況

定 員		前年度末 利用者数	令和7年度中の入退所状況					利 用 延人員	年間平均 稼 働 率	年 度 末 利用者数
			入所	退所	退所理由別					
					施設 移管	契約解除 (入院等)	死亡			
100人		99人	36人	37人	0人	0人	37人	35,562人	97.43%	98人
6年度	100人	98人	26人	25人	1人	3人	21人	35,541人	97.37%	99人

（2）利用者の介護度別人員

性別	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
男 性	0人	0人	2人	7人	6人	15人
女 性	0人	1人	7人	39人	36人	83人
計	0人	1人	9人	46人	42人	98人

（平均介護度 4.32 ）

3 事業の実施状況

（1）重度者ケアの充実

- ア 状態変化時における迅速な対応のため、サービス担当者会議を活用し多職種で情報を共有、個々に応じたケアの検討及び実施に努めた。また、細かな変化についても積極的な情報共有に努めた。
- イ 褥瘡予防のため、写真を用いて体位変換やポジショニングに関する情報を共有した。
- ウ 嘱託医、協力医療機関及びその他医療機関と連携し、利用者の健康管理に努めた。
また、適切な支援のため、経管栄養など医療的ケアの適切な実施に必要な情報共有に努めた。
- エ 嚥下機能の変化に注意し、利用者及びご家族の意向に可能な限り配慮した食事の提供に努めた。また可能な限り経口摂取を継続するため、多職種で嚥下状態の評価・検討をした。
- オ 早期から利用者及びご家族に看取りの意向の確認をした。その情報を多職種で共有し、利用者及びご家族の気持ちに寄り添った看取りケアの実践に努めた。さらに看取りの振り返りや研修を実施、職員の資質向上及び精神的負担の軽減を図った。

(2) 個別ケアの充実

ア 利用者の重度化を踏まえ、業務効率化及び情報共有の迅速化を目的とし介護 ICT 機器の活用について検討した。また体重など各種記録の一元化を図り、情報共有の充実に努めた。

イ 24 時間シートを活用し、利用者の生活習慣や意向に沿ったケアの実践に努めた。また、多職種での定期的な見直しにより職員間の情報共有を図り、ケアの質の向上につなげた。

ウ 褥瘡や誤嚥の予防のため、姿勢調整の情報を職員に周知し、適切なケアの提供に努めた。

エ 体重や各種検査結果の情報を多職種で共有し、低栄養等の異常の早期発見に努めた。

また嗜好調査、残食調査の結果及び嚥下評価の結果を踏まえ、個々の状態に応じた食事の提供を行った。必要に応じて嘱託医と連携し嚥下評価を実施した。

オ 感染症対策との両立を図りながらボランティアを受入れ、またドッグセラピーなどの新たな活動を実施し、余暇活動の充実を図った。施設内行事やユニット外での活動の機会を確保し、日常生活とは異なる雰囲気を感じていただける環境づくりに取り組んだ。

(3) 地域共生社会へ向けた支援体制の構築

ア 地域関係機関との情報共有や地域交流ホールを活用した作品展は開催したが、自治会等との協議はできていない。今後も継続的に検討していく。

イ 認知症カフェの実施に向けた課題を整理した。今後も開設に向けた取組みを継続する。

ウ 福祉の担い手確保に向け、福祉の経験がない方に対して体験機会の提供を行うなど、専門職の裾野を広げる取組みを行った。

(4) その他

ア 入所の年間平均稼働率は 97.43%、短期は 58.68%であり、いずれも目標を達成した。

欠員期間は 15.83 日であり目標には至らなかった。早期の入所面接等により欠員期間の短縮に努めたが、集中的な退所者の発生と入所保留の申し出等で時間を要した。

イ 生産性向上委員会が中心となり事例研究及び研修会に参加した。さらに生産性向上に積極的に取り組む施設の視察及び福祉機器展への参加により情報収集を行った。

また、介護記録ソフト SCOP への切り替えに向けた検討を行い、今後の方向性を整理した。

4 実習、ボランティアの受入状況

(1) 実習の受入実績

実習受入先	受入期間	実人員	延人員
YMCA 米子医療福祉専門学校 施設実習Ⅱ	R7. 9. 10～R7. 10. 16	2人	74人
米子北高等学校看護科 介護実習	R7. 9. 8～R7. 9. 12	3人	15人
鳥取県新規採用職員体験研修Ⅱ	R7. 10. 23～R7. 10. 24	2人	4人
	R7. 11. 20～R7. 11. 21	1人	2人
計		8人	95人

(2) ボランティアの受入実績

敬老週間行事（ハーモニカ演奏など）、ドッグセラピー（2回）、大福茶会着付け、正月玄関装花、古布寄贈、鳥取大学医学部 1 年生早期体験・ボランティア、鳥取県ボランティア体験事業、米子北高 1 年生探究学習（延べ 52 名及び 2 団体）

5 付帯事業

(1) 短期入所事業 定員 併設6名及び空床型

年度	実人員	延人員
令和7年度	9人	1,285人
令和6年度	10人	1,317人

(2) 高齢者世話付住宅援助員派遣事業 定員 22世帯

相談等状況	訪 問	電 話	その他	合 計
安否・健康状態の確認	821件	0件	3,959件	4,780件
生活支援・相談	293件	113件	0件	406件
緊急時の対応	0件	17件	0件	17件
合 計	1,114件	130件	3,959件	5,203件